

一般社団法人 日本小児血液・がん学会  
第 68 回理事会議事録

日 時:令和 4 年 10 月 7 日(金) 15:00~17:00

開 催:web 会議

東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバン 4 階

出席者:大賀正一(理事長)、菱木 知郎、真部 淳(第 65 回学術集会会長)小川 千登世、奥山 宏臣、  
塩飽 仁、高橋 義行、滝 智彦、多賀 崇、藤 浩、加藤 元博、富澤 大輔、家原 知子、  
木下 義晶、大植 孝治、余谷 暢之、山崎 文之、義岡 孝子(以上理事)  
淵本 康史、堀 浩樹(以上監事)  
越永従道(第 64 回学術集会会長)、足立壮一(第 66 回学術集会会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事 18 名中 18 名であり、定款施行細則第 8 条第 3 項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事大賀 正一は議長となり、議長席に着き審議に入った。

#### I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

#### II 審議事項

##### 1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の菱木理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者 8 名が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

##### 2. 委員会新体制について

常設委員会、理事会諮問委員会の新体制候補者が資料で示され、異議なく承認された。

##### 3. 委員会新体制について

疾患委員会小委員会の真部担当理事より、血小板委員会委員長の交代について、2022 年 6 月に選挙を実施し、下記の通り新委員長が選出されたことが報告され、異議なく承認された。

血小板委員会委員長 埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 森 麻希子氏  
(2022 年 11 月 26 日の臨時社員総会翌日からの就任となる)

##### 4. 評議員資格更新について

評議員等資格審査の多賀副担当理事より、評議員資格更新対象となる 4 名について、3 名は定款施行細則(評議員の資格更新)第 2 条 を満たしており更新可能であること、1 名は更新辞退の申し入れがあったことが資料で示され、異議なく承認された。

##### 5. 2025 年日本小児血液・がん学会学術集会会長の選任について

大賀理事長より、2025 年開催の第 67 回学術集会長の選出について、立候補者は九州大学 田尻達郎評議員 1 名であったことが報告され、議場に田尻評議員の就任の承認が求められたところ、異議なく承認

された。

6. 2022 年度各賞受賞者と学会 HP への掲載について 学会誌編集委員会の加藤担当理事より、日本学会賞等選考委員会の加藤担当理事より2022年度の各賞受賞者の選出について資料で示され、異議なく承認された。また、今後、学会 HP へ学会賞のページを作成することも併せて承認された。

受賞者は下記の通り。

<学術賞>

吉田 仁典 国立成育医療研究センター 小児がんセンター

大和 玄季 群馬大学医学部附属病院 小児科

富田 晃正 京都府立医科大学附属病院 小児科

荒川 歩 国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科

<小児がん病理病態研究学術奨励賞>

市川 大輔 名古屋大学大学院医学系研究科 小児科

<大谷賞>

佐藤 聡美 聖路加国際大学

高地 貴行 静岡県立こども病院 血液腫瘍科

7. 第8回小児血液・がん専門医試験、第1回小児がん認定外科医試験について

専門医制度委員会の米田前担当理事より、9 月 10 日(土)実施した専門医試験について資料に示され、下記の通り、異議なく承認された。

・小児血液・がん専門医試験受験者 36 名

(一般 6 名、暫定指導医資格 1 名、血液専門医資格 29

・小児がん認定外科医試験受験者 7 名

※COVID-19 流行下での実施のため、面接試験をキャンセルすることにより半日に日程を短縮し、各種の感染対策を行ったうえで実施した。昨年同様、面接の代わりに学会評議員もしくは研修施設責任者からの推薦状の提出を求めた。

【認定状況】

専門医 358 名(23 年度より認定開始 36 名含む)

指導医 175 名(23 年度より認定開始 1 名含む)

暫定指導医 26 名

(専門医 15 名/指導医 15 名)

専門医研修施設 105 施設

認定研修施設 44 施設

- 単独施設 22 施設/施設群 22 施設

関連研修施設 61 施設

小児がん認定外科医 112 名

みなし指導医 1 名

研修集会 16 研修集会

## 【資格更新状況】

小児血液・がん専門医第 3 回資格更新

対象者 29 名 資格更新者 27 名(猶予 0 名)

小児血液・がん指導医第 3 回資格更新

対象者 8 名 資格更新者 6 名(猶予 0 名)

小児がん認定外科医第 7 回資格更新

対象者 18 名 資格更新者 13 名(猶予 0 名)

研修集会第 6 回資格更新

対象施集会 20 認定更新集会:11

## 8. 小児がんドラッグラグ解消のための要望書について

保険診療委員会の小川担当理事より、小児がんドラッグラグ解消のための要望書について保険診療委員会で検討・しんぎした結果、要望書の趣旨については賛同するが、ドラッグラグの緩和ではなく解消を希望する旨、早急にドラッグラグの緩和を求めたい薬剤リスト(2022年8月現在)に関しては再考を要する旨が示された。また、2022年1月24日に本会より日本医師会 治験促進センターに提出した、AMED 臨床研究「治験・臨床研究を機動的かつ円滑に実施するためのサポート機能に関する研究」の開発候補医薬品リストと要望書と本リストの整合性を図る必要がある、今回の要望書でも添付リストとして提出する旨が併せて資料とともに示され、異議なく承認された。

## 9. 小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン 2023 年版のシステムティックレビューのための文献検索に関する業務委託契約について

診療ガイドライン委員会の多賀担当理事より、当該の文献検索に関する業務委託契約書が資料として示され、異議なく承認された。

## 10. 治すのが難しい小児がんのこども・家族と在宅で関わるためのハンドブックについて

看護委員会の塩飽担当理事より、看護委員会で作成した「治すのが難しい小児がんのこども・家族と在宅で関わるためのハンドブック」について、学会員へのパブリックコメントの実施後、学術集会や学会ホームページ等で配布し、普及、改訂等を行うことが示され、異議なく承認された。

## 11. 小児がん拠点病院等の指定要件について

大賀理事長より、小児がん拠点病院等の指定要件についての厚生労働省への要望書提出の依頼を受けた旨が報告され審議が行われた。審議の結果、まずは拠点病院の連絡協議会より厚生労働省へ要望書として提出する手順を踏んでいただくとの結論に至った。なお、本会は本要望について、学会として支援する考えであることも示された。

## 12. 2022 年度小児医学川野賞学会推薦書について

大賀理事長より、2022 年度小児医学川野賞学へ、1 名を学会推薦とする旨が示され、異議なく承認された。

13. 米國小児科関連学会 2023 年度学術集会における発表者推薦

大賀理事長より、米國小児科関連学会 2023 年度学術集会における発表者の推薦について呼びかけられ、役員にて声掛けが行われることとなった。

14. 第 31 回日本医学会総会 分科会・加盟学会展示開催について

社会広報委員会の高橋担当理事より、第 31 回日本医学会総会 分科会・加盟学会展示開催について参加要請を受けていることが資料と共に示され、大賀理事長の素材協力を得て、社会広報委員会が主導となり展示資料を作成し、展示へ参加することが異議なく承認された。

15. 小児血液・腫瘍学\_改訂第 2 版の電子書籍化について

大賀理事長より、小児血液・腫瘍学\_改訂第 2 版の電子書籍化について出版社より打診があったことが示され、異議なく承認された。

16. 学会の研究基金創設について

大賀理事長より、過去の学術集会の余剰金などを元に、学会員の研究活動を支援するための基金設立について提案され、今後検討を進めることとなった。

17. 学術集会の支援の仕方について

大賀理事長より、学術集会の支援金について学会本体より 100万円 を支援金とすることが提案され、異議なく承認された。

18. 働き方改革「C-2 水準審査業務に関する説明会」について

大賀理事長より、厚生労働省が進めている、働き方改革「C-2 水準審査業務に関する説明会」について、学会から 1 名の出席を求められており検討した結果、専門医制度委員会より 1 名を選出し、出席することが異議なく承認された。

19. 次回以降理事会日程について

今後の理事会日程について、下記の日程が開催候補日となった。

2月 3日(金) 15:00~17:00(対面開催予定)

3月24日(金) 15:00~17:00(現時点では Web 予定)

5月26日(金) 15:00~17:00(現時点では Web 予定)

※2023年1~2月頃、第66回学術集会運営事務局選定コンペを開催予定

20. 適格請求書発行事業者の学会意向確認について

2023年10月のインボイス制度の開始に先立ち、本会は適格請求書発行事業者となることが確認された。

21. カプラシズマブ(カブリビ®)在宅自己注射について

保険診療委員会の木下副担当理事より、カプラシズマブ(カブリビ®)在宅自己注射の嘆願書を学会から厚生労働省へ提出することについて資料と共に示され、異議なく承認された。

### Ⅲ. 報告事項

#### 1. 学術集会報告

##### 1) 第 64 回学術集会

学術集会期間中に開催される臨時社員総会の開始時間について、下記の通り変更となることとなった。

11月26日(土)7:30~8:30→8:00~8:30(現地+Web 開催)

##### 2) 第 65 回学術集会

実施が 2023 年 9 月であるため、早めの準備を行う予定である。また、シンポジウムでは海外からのライブ配信を数件予定していることなどが報告された。

##### 3) 第 66 回学術集会

アメリカ血液学会の日程を確認中のため、引き続き日程を検討中であることが報告された。

##### 4) 疾病(規定疾病)の見直しについて

疾患委員会の真部担当理事より、疾病(規定疾病)の見直しについて資料で示され、報告された。

##### 5) 「看護職及び特定行為研修修了者の医行為の実施状況の把握・評価のための調査研究」について

看護委員会の塩飽担当理事より、「看護職及び特定行為研修修了者の医行為の実施状況の把握・評価のための調査研究」について資料で示され報告された。

#### 4. 理事長報告

##### 1. こども家庭庁創立に向けての予算関連要望事項の提案について

大賀理事長より、こども家庭庁創立に向けての予算関連要望事項の提案について資料で示され報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和 4 年 10 月 7 日

日本小児血液・がん学会 第 68 回理事会

理事長 大賀 正 一 ⑩

監 事 堀 浩樹 ⑩